

男女がともに輝くために

美浦村男女共同参画
～共に輝くみほの会～
問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)208

「誰一人取り残さない社会」をめざして

中山万律子

5月より会の名称を『共に輝くみほの会—美浦村女性行政推進協議会—』から『美浦村男女共同参画—共に輝くみほの会—』に変更し、今年度の活動がスタートしました。

本会は男女が共に輝ける社会を目指して活動していますが、近年では子どもたちや性的マイノリティ、障がい者支援にも目を向けていこうと毎月定例会を開き、話し合いをしています。

昨年度の活動

① 幼児向け人権啓発の講義

美浦村内の幼稚園、保育所
に出向き、幼児向けのDV

Dを題材にディスカッション形式の講義を行いました。この活動は新型コロナウィルスの影響で開催できない年もありましたが、5年続いています。

② 地域の女性リーダーを招いて

阿見町、稲敷市、美浦村の女性議員さんを招き座談会を行いました。一般の方にも多数ご参加いただき、地域の問題の解決策などを話し合う事ができました。

③ その他

男女共同参画推進に関わる研修会やSDGsの勉強会に参加しました。

SDGsを考える

タイトルにある「誰一人取り残さない社会」とは、SDGsの理念です。SDGsは世界的に設定された目標とターゲットですので、解決方法は国や地域、個人個人によって異なるでしょう。私たちに今できることは何か、私たちの地域に必要なものは何かを考え行動していくことが、SDGsの目標に近づく解決方法なのではないかと思えます。

前記の「幼児向け人権啓発の講義」と「地域の女性リ

ダーを招いて」はそのような考えのもと、本会員の提案により実現した活動です。

今後の活動としては、子育て支援サークルへの訪問、美浦村内ボランティア団体との交流会などを予定しています。そして多角的な視点から問題点や良いところを学び、よりよい地域になるように話し合いをしていきたいと考えています。

本会では一緒に交流会をしていただける団体や活動を共にしていただけるメンバーを歓迎しています。まずは自分たちの住んでいる身近なところから「誰一人取り残さない社会」を目指して一緒に活動してみませんか。

あなたの声を聞かせて下さい

共に輝くみほの会では中央公民館内の男女共同参画コーナーにご意見箱を設置しています。皆さまの声を寄せ下さい。

■ 問合せ 企画財政課



みほ文芸

正調俚語 日和吟社 字結び「早・苗」

苗のあいだを行き交う鶯の水も揺らさぬ細い足
早い流れの時代の進歩ついていけない高齢者
早く大きく「なれよ」と見てる友に貰った大賀ハス
背中丸めて田植えの母をなびく早苗に偲ぶ朝
早苗成長青田となって秋は実りの黄金波
早く咲いてはさつさと散って今年花たち情緒欠く
早寝早起き健康リズムさせてアマニ油食べておこ
植えた早苗も日増しに伸びて雨に落ち着く骨休み
朝の仕度を早めに済ませ夫の散歩にお付き合
野球中継中止になって早寝決めこむ初夏の雨
苗木記念樹今年花が咲いて金婚火が灯る
早苗根を張り大きく伸びて青のじゅうたん稲敷市
夫と散歩の早起きコース共に歩ける事の幸
早苗水田に満月うつるゆらす湖風月あかり
老化防止に早口ことばプラス音読続けたい
朝の早いのにやいやながら万歩時計とひとあるき

六月の俳句 (題 当季雑詠)
六月の蓍も青き峽の里
熊の好きなたけのこ細し那須の宿
きみが髪乱るるほどに五月風
傘揺れる四片艶やか明月院
雨あがり水面に波紋初つばめ
亡父の好きな朝顔芽が出たり
廃線の錆び始む鉄路陽炎へる
新緑の風にも心乱れおり
黒猫のゴロリ腹見せ夏に入る
五月雨や如来と聴けり「アベマリア」
久方の舞台うれしや揚雲雀
母の日の亡母への記憶たぐり寄す
老鶯や借景の窓に朝日差す
待ちに待ち喜々と紅さす初夏の旅

(五十首順)

- 石戸 葎華
- 伊藤 葉子
- 井戸 賀蘇道
- 上野 八千代
- 小園 江久美
- 門脇 悠美
- 木村 幸子
- 篠原 美千代
- 関根 秀子
- 高橋 一步
- 塚本 夏雲
- 沼寄 朋香
- 長谷川 悦子
- 増尾 青蓮
- 山岡 亜子
- 山崎 泰弘
- (五十首順)
- 青野 安佐子
- 石毛 恵美子
- 市川 紀行
- 海道 民子
- 小林 美佐恵
- 高柳 幸子
- 田島 早苗
- 中島 輝子
- 長田 敏笑
- 増尾 尚子
- 松葉 統子
- 宮崎 きみ枝
- 村崎 典子
- 山口 美代子